

## IV 騒音・振動・低周波音（施設の利用による影響）

### ◆施設の供用により発生する振動の予測結果（敷地境界）

（単位：デシベル）

時間区分	到達振動レベル ( $L_{10}$ )				環境保全 目標値
	会場予定地		(仮称) 舞洲駐車場予定地		
	平日	休日	平日	休日	
昼間 (6時～21時)	38	38	38	38	65
夜間 (21時～6時)	40	40	37	37	60

■いずれの時間区分においても、環境保全目標値未満でした。

## IV 騒音・振動・低周波音（施設の利用による影響）

### ◆空調設備等の稼働による低周波音予測結果

(単位：dB(G))

予測地点	平休日	時間区分	到達音圧レベル	現況音圧レベル	総合音圧レベル	心身に係る苦情に関する参照値
一般環境 A	平日	昼間	37	77	77	92
		夜間	37	71	71	
	休日	昼間	37	68	68	
		夜間	37	67	67	

注：表中の値はG特性音圧レベルである。

- 総合G特性音圧レベルの予測結果は、いずれの時間区分においても、「低周波音問題対応の手引書」（環境省、平成16年）に記載されている心身に係る苦情に関する参照値である92dB(G)を下回ると予測されました。

## IV 騒音・振動・低周波音（施設の利用による影響）

### ◆施設関連車両の走行による道路交通騒音予測結果

（単位：デシベル）

予測地点	時間区分	等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )				環境保全 目標値
		平日		休日		
		一般車両 + 施設関連車両	一般車両	一般車両 + 施設関連車両	一般車両	
交通No.1 (臨港道路 舞洲4号線)	昼間	68	64	67	59	70
	夜間	63	59	63	57	65
交通No.2 (臨港道路 舞洲2号線)	昼間	67	62	65	58	70
	夜間	63	58	59	52	65
交通No.3 (国道172号)	昼間	67	67	64	62	70
	夜間	63	62	62	61	65
交通No.4 (市道福島桜島線)	昼間	69	69	66	65	70
	夜間	66	66	64	63	65
交通No.5 (臨港道路 コスモ北線)	昼間	71	71	65	62	65
	夜間	64	64	62	62	60
交通No.6 (臨港道路 中央幹線)	昼間	67	67	65	64	65
	夜間	62	62	60	60	60

■ 環境保全目標値を上回っている地点は、現況においても環境保全目標値を上回っており、現況を悪化させない結果でした。

## IV 騒音・振動・低周波音（施設の利用による影響）

### ◆施設関連車両の走行による道路交通振動予測結果

（単位：デシベル）

予測地点	時間区分	振動レベルの80%レンジ上端値 ( $L_{10}$ )				環境保全 目標値
		平日		休日		
		一般車両 + 施設関連車両	一般車両	一般車両 + 施設関連車両	一般車両	
交通No.1 (臨港道路 舞洲4号線)	昼間	53	50	51	44	70
	夜間	47	45	44	41	65
交通No.2 (臨港道路 舞洲2号線)	昼間	49	45	47	39	70
	夜間	40	37	31	24	65
交通No.3 (国道172号)	昼間	51	50	47	45	70
	夜間	45	44	42	41	65
交通No.4 (市道福島桜島線)	昼間	52	52	48	47	70
	夜間	48	47	45	44	65
交通No.5 (臨港道路 コスモ北線)	昼間	53	53	47	43	70
	夜間	46	45	41	40	65
交通No.6 (臨港道路 中央幹線)	昼間	47	47	41	41	70
	夜間	37	37	33	32	65

■すべての地点及び時間区分において環境保全目標値である要請限度値未  
満であり、人間の振動の感覚閾値である55デシベルを下回ると予測されました。

## IV 騒音・振動・低周波音（施設の利用による影響）

### ◆ヘリコプターの運航による騒音の予測結果

時間帯補正等価騒音レベル（ $L_{den}$ ）の予測結果は最大で52デシベルであり、地域の類型Ⅱにおける航空機騒音に係る環境基準値（62デシベル以下）を下回ると予測されました。

### ◆ヘリコプターの運航による低周波音の予測結果

低周波音の到達G特性音圧レベル最大値の予測結果は77～91デシベルであり、ISO-7196に示された感覚閾値100デシベルを下回ると予測されました。

## IV 騒音・振動・低周波音（環境保全措置・開催時）

### ◆主な環境保全措置（開催時）

- ・高速道路への誘導を行い、交通渋滞の抑制に努めます。
- ・（仮称）舞洲駐車場の事前予約制の導入を行うことで、来場時間の平準化を行い車両のピーク時間帯への集中を回避します。
- ・空調設備等について、低騒音型の設備をできる限り採用します。
- ・必要に応じて防音壁の設置等の対策を行います。
- ・賓客用ヘリポートに関しては、極力夜間の離発着を避け、昼間に離発着できるよう、関係者への呼びかけを行います。
- ・ヘリコプターの運航にあたっては、進入・出発経路が可能な限り配慮施設に接近しない経路とし、原則として開催時刻外の早朝夜間は運行しません。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

## IV 騒音・振動・低周波音（工事の実施による影響）

### ◆建設機械の稼働による騒音の予測結果

敷地境界での到達騒音レベルは、会場予定地では最大で81デシベル、（仮称）舞洲駐車場予定地では最大で69デシベルと予測され、特定建設作業に係る騒音の規制基準値（85デシベル）を下回ると予測されました。

### ◆建設機械の稼働による振動の予測結果

敷地境界における到達振動レベルは、会場予定地では最大で51デシベル、（仮称）舞洲駐車場予定地では71デシベルと予測され、特定建設作業に係る振動の規制基準値（75デシベル）を下回ると予測されました。

## IV 騒音・振動・低周波音（工事の実施による影響）

### ◆ 工事関連車両の走行による道路交通騒音予測結果

（単位：デシベル）

予測地点	時間区分	等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )				環境保全 目標値
		平日		休日		
		一般車両 + 工事関連車両	一般車両	一般車両 + 工事関連車両	一般車両	
交通No.1 (臨港道路 舞洲4号線)	昼間	66	64	63	59	70
	夜間	59	59	57	57	65
交通No.2 (臨港道路 舞洲2号線)	昼間	63	62	60	58	70
	夜間	58	58	52	52	65
交通No.3 (国道172号)	昼間	67	67	63	62	70
	夜間	63	62	61	61	65
交通No.5 (臨港道路 コスモ北線)	昼間	71	71	63	62	65
	夜間	64	64	62	62	60
交通No.6 (臨港道路 中央幹線)	昼間	67	67	64	64	65
	夜間	62	62	60	60	60

- 環境保全目標値を上回っている地点は、現況においても環境保全目標値を上回っており、現況を悪化させない結果でした。



## IV 騒音・振動・低周波音（工事の実施による影響）

### ◆ 工事関連車両の走行による道路交通振動予測結果

（単位：デシベル）

予測地点	時間区分	振動レベルの80%レンジ上端値 ( $L_{10}$ )				環境保全目標値
		平日		休日		
		一般車両 + 工事関連車両	一般車両	一般車両 + 工事関連車両	一般車両	
交通No.1 (臨港道路 舞洲4号線)	昼間	51	50	48	44	70
	夜間	45	45	42	41	65
交通No.2 (臨港道路 舞洲2号線)	昼間	46	45	43	39	70
	夜間	37	37	25	24	65
交通No.3 (国道172号)	昼間	50	50	46	45	70
	夜間	44	44	41	41	65
交通No.5 (臨港道路 コスモ北線)	昼間	53	53	46	43	70
	夜間	45	45	41	40	65
交通No.6 (臨港道路 中央幹線)	昼間	47	47	41	41	70
	夜間	37	37	32	32	65

- すべての地点及び時間区分において環境保全目標値である要請限度値未満であり、人間の振動の感覚閾値である55デシベルを下回ると予測されました。

## IV 騒音・振動・低周波音（環境保全措置・工事中）

### ◆主な環境保全措置（工事中）

- ・建設資材等の運搬は、車両走行ルート of 通行時間帯の配慮、運転者への適正走行の周知徹底を行います。
- ・車両走行ルート of 適切な設定を行い、歩道を有する幹線道路や高速道路の利用を優先します。
- ・工事関連車両の運行管理は、各関係機関等との緊密な工事調整を行う計画です。
- ・工事の実施にあたっては、工区割を行い、できる限り影響が低減されるよう、工事の平準化に努めます。
- ・低騒音・低振動型の建設機械の導入や回転圧入形式の杭工法等、騒音・振動の影響が小さい工法の採用に努めます。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

# V 廃棄物・残土（環境影響評価項目）

## ◆ 環境影響評価項目

影響要因  環境要素		会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地				
		施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設・解体 工事		
			建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行			土地の改変・解体	建設機械の稼働	工事関連車両の走行
廃棄物・ 残土	廃棄物		○				○					○
	残土						○					○

注 ○：選定項目

## V 廃棄物・残土（施設の利用による影響）

### ◆施設の利用による廃棄物発生量予測結果

	総排出 (t)	リサイクル量 (t)	処分量 (t)	リサイクル率 (%)
施設の利用	7,892	3,550	4,342	45

### ◆主な環境保全措置（開催時）

- ・営業施設等での容器包装等の使用量削減の推進、来場者へのマイバッグ、マイボトル等の利用の呼びかけ、分かりやすいピクトグラムによる正しいごみの分別の促進により、廃棄物の発生抑制を行います。
- ・営業施設等での調理やメニューの工夫による無駄な生ごみや食べ残し削減の推進等により食品ロスの発生抑制を行います。
- ・使い捨てプラスチック製品の使用抑制に努めます。
- ・今後、ESMS（持続可能性管理システム）の構築・導入に向けた検討方針等を踏まえて、万博会場内外で実施する実証・実装プロジェクトの内容の具体化に向けて検討していきます。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

## V 廃棄物・残土（工事の実施による影響）

### ◆ 建設工事、解体工事による廃棄物発生量予測結果

	総排出量 (t)	リサイクル量 (t)	処分量 (t)	リサイクル率 (%)
建設工事	26,153	23,382	2,771	89
解体工事	895,289	880,168	15,121	98

### ◆ 主な環境保全措置（工事中）

- ・パビリオン建築にかかるガイドラインを策定し、建築資材のリサイクルの推進に努めます。
- ・できる限り場内で種類ごとに分別し、中間処理業者に引き渡すことにより再生骨材、路盤材、再生チップ等としてリサイクルを図ります。
- ・使用する建設資材等については、できる限りリサイクル製品を使用するものとし、建設リサイクルの促進についても寄与できるよう努めます。
- ・梱包資材の簡素化による廃棄物の発生抑制や分別コンテナによる廃棄物分別により廃棄物の減量化に努めます。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

## VI 地球環境（環境影響評価項目）

### ◆ 環境影響評価項目

影響要因  環境要素	会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地				
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設機械の稼働	工事関連車両の走行	土地の改変・解体
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行					
地球環境		○									

注 ○：選定項目

## VI 地球環境（施設の利用による影響）

### ◆環境保全対策の有無による二酸化炭素排出量の予測結果

	二酸化炭素排出量（t-CO <sub>2</sub> /期間）
環境保全対策を講じない場合	53,574
環境保全対策を講じた場合	38,992
削減量 （削減率）	14,582 (27.2%)

### ◆主な環境保全措置（開催時）

- ・施設の利用にあたっては、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入等の検討を行い、さらなる温室効果ガスの排出抑制に努めます。
- ・今後、ESMS（持続可能性管理システム）の構築・導入に向けた検討方針等を踏まえて、万博会場内外で実施する実証・実装プロジェクトの内容の具体化に向けて検討していきます。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

# VII 陸域動物・陸域植物・陸域生態系（環境影響評価項目）

## ◆環境影響評価項目

影響要因  環境要素	会場予定地						（仮称）舞洲駐車場予定地				
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用	建設・解体 工事		
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行			土地の改変・解体	建築物の存在	（施設関連車両の走行） 施設の供用
陸域動物		○		○		○			○		○
陸域植物						○					○
陸域生態系		○		○		○			○		○

注 ○：選定項目



## VII 陸域動物・陸域植物・陸域生態系（調査結果）

### 現地調査による陸域動物の調査結果

項目	確認種数	会場予定地及び (仮称) 舞洲駐車場予定地において 確認された重要な種
哺乳類	2目3科4種	カヤネズミ
鳥類	12目35科 114種	ツクシガモ、ヘラサギ、ヒクイナ、シロチドリ、メダイチドリ、セイタカシギ、オオソリハシシギ、ツルシギ、タカブシギ、サルハマシギ、ハマシギ、ツバメチドリ、ズグロカモメ、コアジサシ、ミサゴ、チュウヒ、ハイタカ、ハヤブサ 等 計52種
爬虫類	2目5科5種	確認なし
両生類	1目3科3種	確認なし
昆虫類	15目180科 591種	マイコアカネ、コオイムシ、ケシゲンゴロウ、コガムシ、チャイロムナボソコメツキ、ツシマヒメサビキコリ、カワイヒラアシコメツキ、キバラハキリバチ
底生生物	7網14目33科 65種	確認なし

### 陸域動物の調査（鳥類）



### 陸域動物の調査（哺乳類）



## VII 陸域動物・陸域植物・陸域生態系（調査結果）

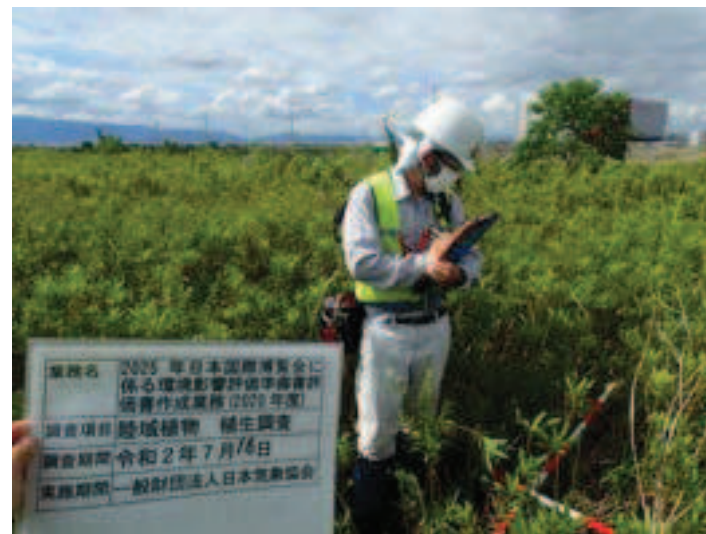
### 現地調査による陸域植物の調査結果

項目	確認種数 群落等の区分数	会場予定地及び予定地境界付近において確認された 重要な種・重要な群落
植物相	86科362種	ツツイトモ、コガマ、ヒトモトススキ、カワチシャ、カワツルモ
植生	12区分	確認なし

陸域植物の調査（植物相）



陸域植物の調査（植生）



## Ⅶ 陸域動物・陸域植物・陸域生態系（施設の利用による影響）

### ◆ 予測結果の概要

会場予定地及び（仮称）舞洲駐車場予定地において確認された重要な陸域動物については、環境の保全及び創造のための措置を確実に実施することにより影響は小さいと予測されました。

### ◆ 主な環境保全措置（開催時）

- ・空調設備等は可能な限り低騒音型及び低振動型の設備を採用します。
- ・適切な遮光フードの採用、照明器具の適正配置により、会場予定地外及び（仮称）舞洲駐車場予定地外に生息・生育する動植物への影響を可能な限り低減します。
- ・グリーンワールドや静けさの森には緑地を設置することにより動物が利用可能な空間とします。
- ・ウォーターワールドは、水辺に生息する鳥類に配慮して開放水面を出来るだけ確保します。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。

## Ⅶ 陸域動物・陸域植物・陸域生態系（工事の実施による影響）

### ◆ 予測結果の概要

会場予定地及び（仮称）舞洲駐車場予定地周辺において確認された重要な陸域動物、植物については、工事の実施にあたって環境の保全及び創造のための措置を確実に実施することにより影響は小さいと予測されました。

### ◆ 主な環境保全措置（工事中）

- ・建設機械は、可能な限り低騒音型、低振動型を使用します。
- ・夜間工事を行う場合には、工事を最小限にとどめ、適切な遮光フードの採用、照明器具の適正配置により、周辺に生息・生育する動植物への影響を可能な限り低減します。
- ・会場予定地内の工事中の雨水等は、会場予定地内南側のウォーターワールド予定地に流入させ、同地内を經由させることで、SSの除去を行います。また、コンクリート打設等に伴うアルカリ性の排水はpH調整を行った後にウォーターワールドを經由して既設の余水吐より放流します。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、  
環境保全目標を満足するものと考えます。

## Ⅶ 陸域動物・陸域植物・生態系（環境保全措置）

### ◆環境保全措置（カヤネズミ）

工事開始前に草刈りを行う際、既存事例に基づき草地の中央付近から周辺へ進め作業を複数回に分けて実施します。



カヤネズミ

### ◆環境保全措置（コアジサシ）

- ・会場予定地内及び（仮称）舞洲駐車場予定地内において飛来が確認された場合には、「コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針」に基づき、防鳥ネットによる被覆等の営巣防止対策を実施します。また、営巣が確認された場合には、付近を原則立入禁止とする等、配慮、対策を行っていきます。
- ・なお、コアジサシが好む裸地など繁殖可能な場所の確保について検討を行うこととします。



コアジサシ

## Ⅶ 陸域動物・陸域植物・生態系（環境保全措置）

### ◆環境保全措置（カワツルモ）

生育が確認された場所は、大阪港湾局が今後、地盤改良工事を実施する予定区域内であり、大阪港湾局が有識者に相談し対応を検討しています。

このため、今後の大阪港湾局の検討・対応状況を確認し、土地貸与後の工事開始前に生育状況の確認を行い、生育が確認された場合は有識者の指導に基づき、対応を検討します。



カワツルモ

出典：「夢洲の塩性湿地とそこに生きる植物たち；都市と自然523号 2020年12月・2021年1月」（公益社団法人大阪自然環境保全協会、写真：大阪市立自然史博物館 長谷川匡弘）

### ◆環境保全措置（ヒトモトススキ、コガマ、カワヂシャ）

工事開始前に生育状況の確認を行い、生育が確認された場合は有識者の指導に基づき標本保存や移植など適切に対応を行います。



カワヂシャ

# VIII 海域動物・海域植物・海域生態系（環境影響評価項目）

## ◆ 環境影響評価項目

影響要因  環境要素	会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地				
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設機械の稼働	工事関連車両の走行	土地の改変・解体
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行					
海域動物						○					
海域植物						○					
海域生態系						○					

注 ○：選定項目

## Ⅷ 海域動物・海域植物・海域生態系（工事の実施による影響）

### ◆ 予測結果の概要

夢洲周辺海域において確認された重要な海域動物については、工事の実施にあたって環境の保全及び創造のための措置を確実に実施することにより影響は小さいと予測されました。

### ◆ 主な環境保全措置

- ・会場予定地周辺海域において、浚渫及び埋立は行いません。
- ・会場予定地内の工事中の雨水等は、会場予定地内南側のウォーターワールド予定地に流入させ、同地内を經由させることで、SSの除去を行う計画とします。また、コンクリート打設等に伴うアルカリ性の排水はpH調整を行った後にウォーターワールドを經由して既設の余水吐より放流する計画とします。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、環境保全目標を満足するものと考えます。



# IX 景観（環境影響評価項目）

## ◆ 環境影響評価項目

影響要因  環境要素	会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地				
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設機械の稼働	工事関連車両の走行	土地の改変・解体
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行					
景観	○										

注 ○：選定項目

# IX 景観（施設の存在による影響）

## ◆コスモタワー展望台からの景観の予測結果

現況



施設完成後



## IX 景観（環境保全措置）

### ◆主な環境保全措置

- ・パビリオン等の建設にあたっては、原則として高さ制限を設ける等、大阪港の景観形成や夕陽への影響に配慮を行います。
- ・博覧会開催時間には夜間も含まれていますが、夜間においても周囲への影響を少しでも和らげるようなソフトなライトアップにより、親しみのある夜間景観を創出するよう努めます。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、  
環境保全目標を満足するものと考えます。

# X 自然とのふれあい活動の場（環境影響評価項目）

## ◆ 環境影響評価項目

影響要因  環境要素	会場予定地						(仮称) 舞洲駐車場予定地				
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事			施設の存在	施設の利用 (施設関連車両の走行)	建設機械の稼働	工事関連車両の走行	土地の改変・解体
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行					
自然とのふれあい活動の場			○		○			○		○	○

注 ○：選定項目

## X 自然とのふれあい活動の場

### ◆ 施設の利用による影響の予測結果

- 施設関連車両の走行に伴い影響を及ぼすことが想定される大気質等の各項目は環境保全目標を満足しており、影響は小さいと予測されました。
- 車両によるアクセスルートの分断・消滅はなく、徒歩ルートも適切に確保されており、自然とのふれあい活動の場へのアクセスに対する影響は小さいと予測されました。

### ◆ 工事の実施による影響の予測結果

- 自然とのふれあい活動の場の消滅の有無と改変の程度については、ふれあい活動の場の改変は行わないこと等から影響はないと予測されました。
- 工事関連車両の走行に伴い影響を及ぼすことが想定される大気質等の各項目は環境保全目標を満足しており、影響は小さいと予測されました。
- 車両によるアクセスルートの分断・消滅はなく、徒歩ルートも適切に確保されており、自然とのふれあい活動の場へのアクセスに対する影響は小さいと予測されました。

## X 自然とのふれあい活動の場

### ◆ 主な環境保全措置（開催時）

- ・主要ターミナル駅からのシャトルバスやパークアンドライドバスを導入することにより来場者等の車両台数の低減や車両交通流の円滑化を図ります。
- ・（仮称）舞洲駐車場においては、原則事前予約制の導入を行うことで、来場時間の平準化を行い車両のピーク時間帯への集中を回避します。

### ◆ 主な環境保全措置（工事中）

- ・工事関連車両の運行にあたっては、乗り合いを推進すること、朝夕の通勤により混雑する時間帯をできる限り避けることにより工事関連車両の車両台数の低減を図ります。
- ・工事関連車両運転者に対しては、歩行者等の優先の徹底、交差点進入時、右左折時における歩行者等の安全確認の徹底等の交通安全教育を徹底します。

周辺環境への影響をできる限り低減する計画としており、  
環境保全目標を満足するものと考えます。

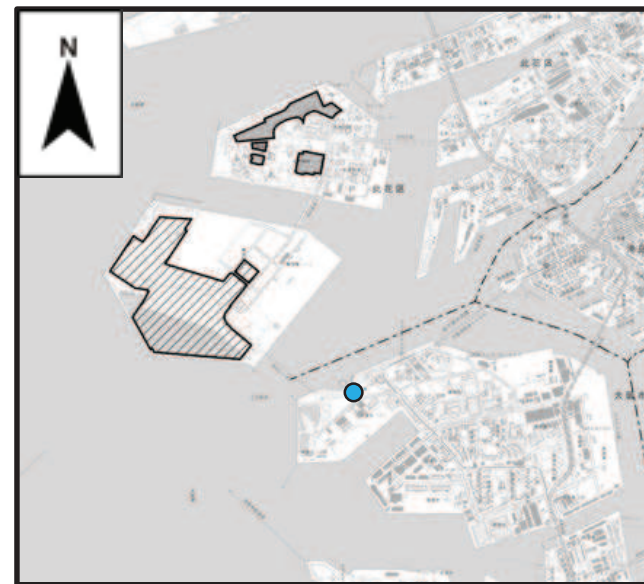
## XI 夢洲関連事業との複合的な影響

### ◆ 予測結果の概要

- 夢洲関連事業との複合的な影響について、供用中及び工事中の車両走行に伴う影響について参考として試算しました。本試算は、大阪市より情報提供された夢洲関連事業の環境影響が最大となる時期と本事業の環境影響が最大となる時期を重ねた場合の試算です。

#### 【騒音（供用中及び工事中）】

- 図の地点においては、現時点でも環境保全目標値を超過しており、複合影響の試算を行ったところ、1～2デシベル悪化させる結果となりました。
- この結果は、最大となる時期を全て重ねた場合の試算であり、実際に夢洲関連事業が実施され、現況を悪化させる状況が予測される場合においても、大阪市は大阪港港湾計画で計画される騒音対策等を実施することとしており、環境保全目標を満足すると考えられます。



この地図は、国土地理院の電子地形図25000をもとに作成しました。

本事業においては、施設関連車両、工事関連車両の走行にあたっては、先にご説明した各項目の環境保全措置を講じ、周辺環境への影響をできる限り低減する計画としています。

## 3. 環境影響評価結果

3-1. 調査、予測及び評価の結果

3-2. 総合評価

3-3. 事後調査の方針



## 総合評価

大気質、水質、土壌、騒音、振動、低周波音、廃棄物・残土、地球環境、動物、植物、生態系、景観、自然とのふれあい活動の場について、事業の実施が事業計画地周辺の環境に及ぼす影響について予測を行った結果、いずれの項目についても環境保全目標を満足するものと評価します。

## 3. 環境影響評価結果

3-1. 調査、予測及び評価の結果

3-2. 総合評価

3-3. 事後調査の方針

## 事後調査の方針

◆ 本事業の実施にあたっては、事後調査を行うことを計画しています。

### ＜施設の利用＞

- 道路交通騒音・振動・交通量
- 博覧会開催による騒音
- 廃棄物  
種類別発生量・排出量
- 地球環境  
エネルギー消費量

### ＜建設・解体工事中＞

- 建設機械・工事関連車両の台数等
- 道路交通騒音・振動・交通量
- 建設作業騒音・振動
- 廃棄物・残土  
種類別発生量・排出量
- 陸域動物  
鳥類の飛来状況の確認（コアジサシ）
- 陸域動物、陸域植物  
動物、植物の生息状況・生育状況  
（重要種）

## 4 . 環境影響評価準備書の 縦覧について

環境影響評価準備書の縦覧を行っています。

◆縦覧期間：令和3年10月1日（金）から同年11月1日（月）まで

◆縦覧場所及び縦覧時間

縦覧場所	住所等		縦覧時間
此花区役所	此花区春日出北1-8-4 此花区役所1階 区民情報コーナー	TEL 06-6466-9683	午前9時～ 午後5時30分 (土曜日、日曜日を除く)
港区役所	港区市岡1-15-25 港区役所1階 区民情報コーナー	TEL 06-6576-9683	
住之江区役所	住之江区御崎3-1-17 住之江区役所1階 区民情報コーナー	TEL 06-6682-9683	
公益社団法人2025年 日本国際博覧会協会	住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎43階	TEL 06-6625-8674	
環境局環境管理部 環境管理課	大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルO's棟南館5階	TEL 06-6615-7938	
環境局総務部総務課	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシアス13階	TEL 06-6630-3113	

◆環境影響評価準備書及び要約書は、大阪市環境局ホームページでもご覧いただけます。

大阪市環境局ホームページ

URL : <https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000544704.html>

## 5 . 意見書提出先

◆受付期間：令和3年10月1日（金）から同年11月15日（月）まで

◆提出先及び提出方法

意見書提出先		提出方法
大阪市長に 対して意見を 述べる方	環境局環境管理部環境管理課 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルO's棟南館5階	持参※ <sup>1</sup> 、送付、 FAX（06-6615-7949）、 オンライン受付※ <sup>2</sup>
事業者に 対して意見を 述べる方	公益社団法人 2025年日本国際博覧会 協会 整備局整備部整備計画課 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎43 階	持参※ <sup>1</sup> 、送付、オンライン受付※ <sup>2</sup> FAX（06-6625-8737）、 Eメール ( <a href="mailto:kankyo_assess@expo2025.or.jp">kankyo_assess@expo2025.or.jp</a> )

※<sup>1</sup> 持参により意見書を提出する場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時30分まで

※<sup>2</sup> オンライン受付にあたっては、大阪市行政オンラインシステム（下記URL又はQRコード）をご利用ください。  
(URL:<https://lgpos.task-asp.net/cu/271004/ea/residents/procedures/apply/b276ea56-47e4-402a-ae7-12d5ddfefc90/start>)



ご清聴ありがとうございました